

受賞団体・個人の活動内容

<団体の部>

	団体名	活動内容
1	金沢市立十一屋小学校 運営委員会	当番制で毎朝児童玄関の前に立ち、「廊下を静かに歩こう」などの生活目標を伝えながら「あいさつ運動」をしている。運営委員会の児童はその中心となり活躍している。また、年2回中学生とも連携。学校元気の推進役である。
2	金沢市立泉野小学校 生活委員会	毎朝校門で「あいさつ運動」を行い、全校の子どもたち地域の方々、校区の中学生や自転車通学の高校生など多くの人々に元気を届ける。最近はボランティアの輪が、生活委員会以外の子どもたちにも広がり参加者が増えている。
3	金沢市立野田中学校 生徒会	新型コロナ感染拡大防止から行動制限があったが、「雪かきボランティア」「あいさつ運動」は継続し地域に貢献した。令和3年度はSDGsの目標に対する新しい取組「文房具リユースプロジェクト」を実施した。
4	石川県立加賀高等学校 キャリアアップ部	動橋町内のごみ拾いやJR動橋駅の清掃、地区会館での児童交流ボランティア活動などの地域貢献ボランティア活動に取り組み、感謝の声をいただくことも増えた。プランター花植えを行い地域各所への寄贈も行う。
5	石川県立羽咋高等学校 教志未来塾	地元の中学3年生に対して学習支援ボランティアを行うことにより、中学生の学習意欲と学力向上に寄与するとともに、お互いの「社会性・連携性」を身に付ける機会にもなっている。本校生徒のキャリア教育の一環ともなる。
6	専門学校金沢リハビリテーションアカデミー学生会	学校が立地する地域でのボランティアに興味を持ち活動を開始。「そくさいカフェ・こまちなみ」への参加や新登町校下社会福祉協議会との「雪かきボランティア協定」をとおして一層意欲的に活動に取り組む。
7	学生サークル小梅	『つどい場はなうめ』の活動趣旨に共感し、がんを経験した子どもと家族のために役に立ちたいという熱い思いを持ち設立。活動は、多様性を尊重した共生社会の在り方について提言できる保健医療従事者の育成に貢献する。
8	金沢大学アメリカンフットボール部	田上小学校の児童に対する朝の安全サポートを継続的に行う。講義前の時間を利用し、交差点での児童への声掛け、運転者・歩行者への呼びかけを行う。地域の安全に貢献するとともに、自らの行動を律する機会にもなる。

<個人の部> ()内は、所属団体

	氏名	活動内容
1	山谷 昌平 (金沢市子ども会連合会シニア委員会)	中学生の時から金沢市子ども会連合会の少年委員、リーダー委員として活動に関わる。社会人となってもシニア委員として、少年委員やリーダー委員の育成、子ども会活動に協力。「かなざわユースプロジェクト」にも参加した。